

地蔵院 所在地：三軒家東 4-5-9

山号を弘法山と号し真言宗高野派南坊法案寺の坊末にして地蔵菩薩を本尊とし、摂津之國第31番霊場である。元禄元年(1688)「快圓」の開創で、寺はもと東成郡住吉村字大領にあったが、高野鉄道(今の南海鉄道高野線)建設の際立ち退きとなり、明治34年4月現在地に移転し、境内は400坪あまりを有していたが戦災に全焼し、後の区画整理で現在は160坪に縮小された。

開祖の「快圓」は、厳格な人柄で多くの門人を育てたが、中でも江戸時代の国学者「契沖」の師で高野山修業時代に大きな影響を与えたと記録されている。境内には「快圓」の墓と大阪紡績大火の際の犠牲者の合同慰霊碑がある。また昭和に入り院内に幼稚園を設け子どもたちの健康と育成に尽力し戦後に閉園となったが、飾り井戸が当時のおもかげを今に伝えている。

